

1.はじめに

エダマメは嗜好性が高くタンパク質、ビタミンB1、カリウムなど健康に良い成分を多く含んでいることから、近年は日本のみならず世界的にも消費が拡大しています。エダマメは収穫後に甘みが低下するのが非常に早い野菜であることから、生産地では糖分が分解しにくいよう朝、夕の涼しい時間帯に収穫し、速やかに収穫、調整、予冷などの作業を行って、なるべく早く消費者の元へ届けるよう努力をされています。さらに鮮度保持のための包装資材の改良もどんどん進んでおり、春から夏の出荷時期になると誰でも店頭で鮮度の良いおいしいエダマメが食べられるようになりました。

近年は品種についても一層「おいしさ」を求める声が強くなってきており、弊社では昨年から特に味にこだわった品種群「豊熟の味わい」シリーズの販売を開始しました。その第一弾となる『味風香』は5~6月頃収穫できる食味の良い早生品種として大好評いただいておりますが、今回『味風香』の後、夏場(7~8月)の収穫に適した中早生品種『夏風香』を発表しました。その特性と栽培のポイントについて紹介いたしますので、栽培の参考にしていただければ幸いです。

2.『夏風香』の特徴

「豊熟の味わい」シリーズは「香り」「甘み」「旨み」にこだわって育成しました。『夏風香』は『味風香』と比較すると香りはやや少ない傾向がありますが、その分クセがなく万人が食べやすい味となっています。エダマメの甘み成分で多く含まれるのはショ糖と麦芽糖ですが、

ショ糖は収穫後の減少が早いのに対し、麦芽糖は舌に感じる甘みとしてはやや弱いものの収穫後に減少しにくいという特徴があります。『夏風香』はこの麦芽糖の割合が比較的高く、収穫後の甘みの低下が遅い傾向があります。



▲写真 濃厚な味わいの『夏風香』

また栽培面においては過繁茂になりにくいため管理がしやすく、着莢も安定しています。また莢は比較的大莢で実入りが良く太りが良好なので、莢重が重く収量性にも優れています。



▲写真 『夏風香』の草姿

3.『夏風香』の栽培特性

1) 熟期

「サヤムスメ」より若干遅い程度で、播種後86日(一般地標準)前後で収穫できる中早生品種です。東北、北海道など夏季の日長が長い地域ではやや晩生化する傾向がありますが、極端に収穫が遅くなることはありません。

2) 草姿

「サヤムスメ」と同じか、やや草丈が高くなりますが、草勢は比較的小さく、分枝が広がりにくいので折損が少なく栽培が容易です。また、もぎ出荷では脱莢機での分枝の折れが少なく、莢離れが良好で作業性に優れています。

▼写真 作業性に優れる『夏風香』の草姿



3) 莢の形質

「サヤムスメ」よりもやや小振りな程度の大莢で、『夏風香』よりも莢色が濃く外観に優れます。3粒莢の割合は「サヤムスメ」よりやや低いですが、不稔莢や欠粒莢の発生は少ない特徴があります。

4) 収量性

『夏風香』は着莢性に優れており、収量性は良好です。特に夏期の栽培において

は開花期の高温による花落ち、受精不良で着莢が悪くなるがありますが、『夏風香』は高温期の着莢が安定しているのも多収となります。(表1)

早出し向けのハウス、トンネルによる移植栽培からマルチ、露地での直播栽培まで、全国の幅広い栽培に適しますが(作型表参照)、一般地4~5月播き、北海道、東北、高冷地5~6月播きの露地(マルチ)栽培(7~8月収穫)に最も適しています。

1) 肥培管理

『夏風香』は草丈が伸びやすい品種のため、「サヤムスメ」よりもやや元肥は抑え気味にし、生育状況を見ながら葉面散布などで追肥を行う方が良いでしょう。特に肥沃な圃場では窒素肥料の過剰な施用に注意が